



「塾ナビ」をはじめとする御社の事業について教えてください。

「塾ナビ」は学習塾・予備校の比較・口コミサイトです。15年5月末時点の口コミ数10万件以上、

「塾ナビ」は学習塾・予備校の比較・口コミサイトです。15年5月末時点の口コミ数10万件以上、

イトクロ(6049・M)は「塾ナビ」を中心に、教育ポータル(玄関)サイト運営を手掛ける。足元の業績は好調、前2015年10月期業績は大幅増益の見通しで、今期以降の成長期待も大きい。株価面では今年7月30日の上場直後に大幅下落したものの、8月末に切り返し、11月2日には上場来高値2150円を付けており、今後の動向にも注目だ。同社の現状と将来について山木学代表取締役CEO(最高経営責任者)に聞いた。

# イトクロ

## 学習塾のポータルサイト首位

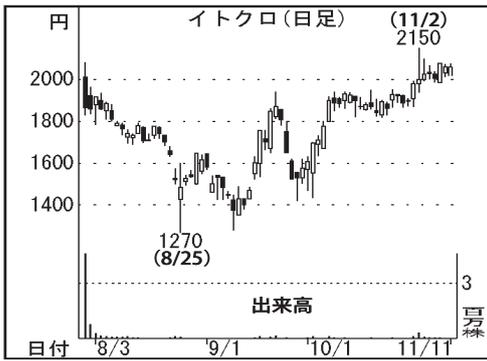
掲載教室数3万5000教室以上、年間の訪問者数1200万人以上で、学習塾のポータルサイトでは国内首位です。ビジネスモデルは「塾ナビ」に掲載した学習塾に対する資料請求に応じて1件当たりいくらの成果報酬をいただいています。学習塾にとっては広告宣伝の効率化につながることから、当社サイトの利用は順調に増えています。

「一方、学習塾の広告宣伝は以前から新聞の折り込みチラシが中心ですが、現代では親も子どももインターネットを見る時間が増え、何か知りたいことがあったら

と、生徒本人や保護者の方々が必ず要としている教育の情報がインターネット上では少なく、整理もされていないことがサービス開始のきっかけです」

「教育関連以外の事業は何かありますか。」

「みんなのカードローン」「BEST証券比較」「FX比較オンライン」など金融ポータルサイト運営や、教育や金融業界の企業へのコンサルティングサービスも手掛けています。ただ、市場動向に左右され、金融関連の収益は期によって差があり、全体の収益の推移もここになっていきます。し



かし、現状では利益の大半が教育関連のメディアサービスで、教育

## 少子化の影響軽微、成長余地は大

関連の収益は毎期、順調に伸びています。今後、教育関連により一層注力し、業績の成長を目指すつもりです」

「日本では少子化が問題になっています。その中で将来のビジョンはいかがですか。」

「学習塾関連市場、民間教育市場は広告だけでもそれぞれ500億円を超える市場規模があるといわれ、当社の広告関連の売上高は増加していますが、現在のシェアはまだ数%です。学習塾などの広告は今後さらに紙からネットへの転換が進むと予想され、依然として拡大の余地は大きく、少子化の影響は軽微であると考えています。当面は学習塾関連、民間教育関連市場の広告事業に注力することで、成長を継続していきます」

「一方、これから学校間で生き残りのための競争が激しくなるの見通しがあり、それに向け学校情報ポータルサイト『みんなの学校情報』も開始しています。現状で学校情報ポータルサイトは投資の段階で、口コミを含む情報を増やしていますが、数年後には当社の成長をけん引する事業に育成していきます」